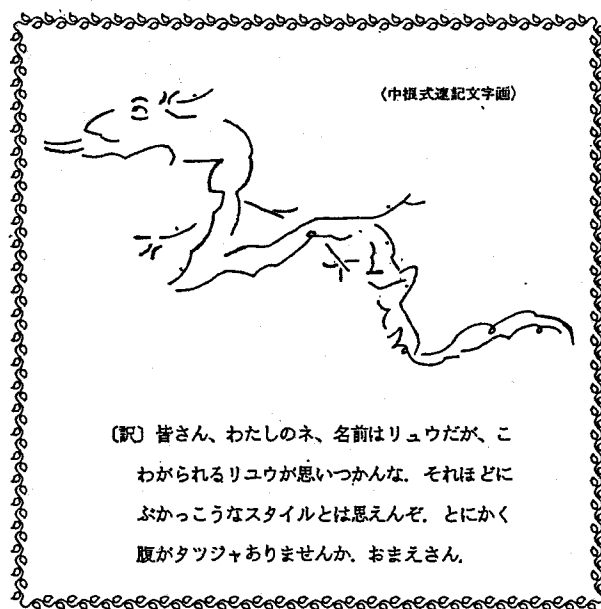


【中根式21世紀型の解説（初級・中級）】

基本文字の名称 ⇨ はやかな

《平成16年8月22日 正式発表》



創案者：中 根 康 雄

第1章 できる限り簡単に、速く書けるようになるためには

【基本的な考え方と練習の仕方】

- [1] 「無理なく、むだなく、楽で、速い」というのが能率の4原則とされていますので、これを念頭に置く必要があります。
- [2] これを速記文字に置き換えてみますと、
「理路整然としていて、例外がなく、簡単に、速く書けるようになる」ということになると思われます。
- [3] そして、まずは、中速度まで簡単に書けるようになる方法を理解して、それを日常生活で活用できるようにして、その上で、高速度までもできるだけ簡単に書けるようにしていくようにします。
- [4] つまり、中速度までの最短コースとしては、次のとおりです。

★第1段階：基本文字を無意識に書けるようにする。

50音を順番に、見ないで書けるようになれば結構です。その次に、ばらばらにしても書けるようになってください。(イロハ順で練習します)

★第2段階：濁音と半濁音の書き方を理解して、文章を書いていく。

いろいろな言葉、文章をゆっくり書いていってください。ひらかな・カタカナだけで書く場合と同じようにして書いていければ、それだけで仮名文字よりも速く書くことができます。

★第3段階：促音・長音・よう音を簡単に表現する方法を理解する。

よく出てくる日本語の促音(つまる音)・長音・よう音を簡単に表現する方法を理解して、それを少しずつ応用していくと、どんどん簡単に表現できます。

(基本文字にこういう音を表現する方法を加えます)

★第4段階：「インツチクキ」の6音も簡単に表現する方法を理解する。

音読みの漢字の2音目によく出てくる「インツチクキ」の6音が簡単に表現できる方法を理解するだけで、かなりのスピードアップになります。

特に「ン」と「イ」は非常によく出てきますから、まずはこの2種類の音を簡単にする方法を使うようにしていきましょう。

(これらも基本文字にこういう音を表現する方法を加えるだけです)

★第5段階：語尾、接続詞等でよく使う言葉を簡単に表現できる方法を理解する。

メモを取る場合なら、第4段階までの方法を使って書けばいいわけですから、まずは第4段階までがうまく活用できるようになってください。

語尾、接続詞などが必要な普通の文章を簡単に書けるようにしたい場合は、こういう言葉の中からよく使う言葉を少しだけ選んで、それらを簡単に書く方法を理解して、活用していくようにしてください。

【注】 この段階まではつないで書かない理由は次のとおりです。

- (1) 速記文字をつなぐときに初歩の段階で難しいと感じる方がいらっしゃるのですが、ただ単に、基本文字を覚えてから、それに区別符号を加えるだけで、漢字かな交じり文よりも速く、簡単に表記できるようになるためです。
- (2) 漢字かな交じり文のように、横あるいは縦の細い幅の中に書いていくことができるため、従来からの日本語の表記と同じように扱えるからです。
- (3) さらに言えば、コンピュータを使って、書いた文字が読めるようにするのも、この書き方のほうが楽にできるのではないかとと思われるからです。
- (4) なお、この書き方を点字の表記に応用できないかとも考えています。

〔5〕高速度の速記ができるための上級コースは、次のとおりです。

★第6段階：文章を大体文節ごとにつないで書いていく。

上記の5段階までの書き方が楽にできるようになって、もっと速く、楽に書けるようになることを希望される場合は、文章を適当につないで書くようにして書いてください。（大体文節ごとに区切ってください）

（これまでに使った書き方のうち、濁音、半濁音の書き方とつまる音の書き方は上級では別の書き方に変えます）

★第7段階：言葉の分け方によって、それぞれ簡単に書く方法を理解する。

音読みの漢字、語尾、助詞、接続詞、代名詞、形容詞（形容動詞）、副詞、複合動詞、和語、外来語というように分けられるので、それぞれ簡単に書く方法を理解して、うまく使えるようになれば、非常に速く書けるようになるわけです。

つまり、このように大体10種類に分けられ、それぞれ10種類ぐらいつつ理解すると、高速度の文章も簡単に書けるようになるというわけです。

（詳細は、上級の章で説明します）

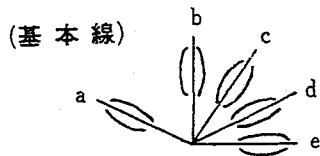
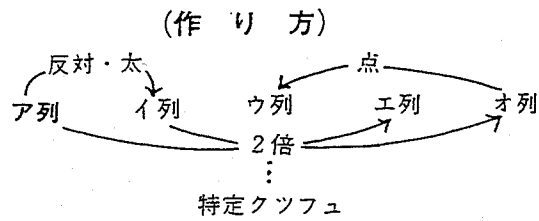
【従来の中根式速記の基本文字】一覧表

中根式速記 基本文字表…(速記かな)

	ア列	イ列	ウ列	エ列	オ列
ア行 (d)	ノ ア	ノ イ	ノ ウ	ノ エ	ノ オ
カ行 (e, c, b)	一 カ	ノ キ	ノ ク	ノ ケ	ノ コ
サ行 (a)	ノ サ	ノ シ	ノ ス	ノ セ	ノ ソ
タ行 (a, b, d)	ノ タ	ノ チ	ノ ツ	ノ テ	ノ ト
ナ行 (e)	ノ ナ	ノ ニ	ノ ヌ	ノ ネ	ノ ノ
ハ行 (b, d)	ノ ハ	ノ ヒ	ノ フ	ノ ヘ	ノ ホ
マ行 (e)	ノ マ	ノ ミ	ノ ム	ノ メ	ノ モ
ヤ行 (c)	ノ ヤ		ノ ユ		ノ ヨ
ラ行 (c)	ノ ラ	ノ リ	ノ ル	ノ レ	ノ ロ
ワ行 (c)	ノ ワ		ノ ン		

ア行(d) ノー(e, c, b)
 サ行(a) ノー(a, b, d)
 ナ行(e) ノー(e)
 ハ行(b, d) ノー(b, d)
 マ行(e) ノー(e)
 ヤ行(c) ノー(c)
 ラ行(c) ノー(c)
 ワ行(c) ノー(c)

(複線カタカナ)

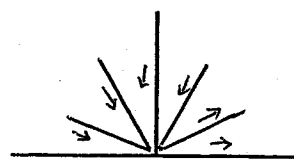


【中根式21世紀型の基本文字=はやかな】一覧表

		ア列	イ列	ウ列	エ列	オ列
ア行 (ア)	アイウエオ	↗	↘	↖	↙	↘
カ行 (カ)	カキクケコ	—	—	—		
サ行 (サ)	サシスセソ	↘	↙	↖	↗	↘
タ行 (タ)	タチツテト	↘	↙	↖	↗	↘
ナ行 (ナ)	ナニヌネノ	↘	↙	↖	↗	↘
ハ行 (ハ)	ハヒフヘホ)))	((
マ行 (マ)	マミムメモ	↘	↘	↘	/	/
ヤ行 (ヤ)	ヤ ュ ヨ	↘		↘		↘
ラ行 (ラ)	ラリルレロ	↘	↘	↘	/	/
ワ行 (ワ)	ワ	↘		。		
	(ヰ)					

基本文字の長さは3種類

基本文字の角度は30度ずつの6方向



【はやかな】のつくり方の説明と覚え方

- (1) 例外なく、「1を聞いたら5を知る」という具合に、アカサタナハマヤラワがわかれば、イ列、ウ列、エ列、オ列が同じように変化するようになっています。
- (2) アカサタナハマヤラワはそれぞれカタカナの一部と考えて、その部分を覚えてください。

- (3) 変化の仕方は、ア列の2倍が ⇨ イ列
ア列の3倍が ⇨ ウ列
イ列の裏返しが ⇨ エ列
ア列の裏返しが ⇨ オ列

(ア列が直線の場合は、イ列の左右対称形がエ列、ア列の左右対称形がオ列)

- (4) 「アイウエオ」というときの声の調子は、ア⇨イ⇨ウと強くなり、エ⇨オと弱くなるとなっていますから、そういう調子に合わせて、この「はやかな」の長さも考えてあります。
- (5) 行ごとに5文字ずつ、何回も書いていってください。最初は見ながら書いていき、だんだん慣れるようにしてください。

(ア行からワ行まで、それぞれの行を練習してください)

- (6) 行ごとに何回も書いて、大体わかるようになったら、今度は、ア～コまでの10文字、ア～サまでの15文字、ア～トまでの20文字というようにふやしていってください。

そして、次に、ナ～ホまで、ナ～モまで、ナ～ヨまで、ナ～ロまで、ナ～ンまでというようにして、少しずつふやしていってください。

それができれば、ア～ンまでの全部が、この50音の順番であれば、見ないで書けるようにしていってください。

- (7) 何分かかっても結構ですから、この50音を見ないで書けるようになっていただければ、それで第1目標は達成です。

第2目標は50音が30秒で書けることです。この目標が達成できると、この「はやかな」をうまく頭に入れることができたということになります。

- (8) 第3目標は、イロハ順が1分間で書けるようになることです。何回も書いてみて、この目標を達成してください。そうすれば、何でもすらすら書けるようになります。

濁音・半濁音の書き方について

濁音は、実は書かなくても大体わかるということになっています。つまり、「ありかとう こさいます」とか「こうつう あんせん うんとう」としても、前後関係から大体理解できます。

半濁音も、「ン」のあとの「ハ行」と「ッ」のあとの「ハ行」が半濁音になるという場合がほとんどですので、書かなくてもわかります。

〔県費 ケンヒ ⇨ ケンピ 立派 リッパ ⇨ リッパ〕

という具合です。(新聞、看板など、あとの音が2音になるときなど、例外はあります)

それから、日本語の場合はありませんが、外来語の場合は言葉の頭に半濁音がくることがありますが、これも、なくても判断できます。

〔ホビュラーミュージック ⇨ ポピュラーミュージック〕

しかし、最初のうちは、しっかり書いておくほうがわかりやすいので、次のようにして濁音と半濁音を表現することにおきます。

〔濁音・半濁音一覧表〕

*濁音：文字の後ろに大かぎをつける。つける側は次のとおり。

*半濁音：文字の後ろに大きな円をつける。

理解できる範囲で書かないようにする。

つなぐときは、書かないか、後述の別の書き方をする。

ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ
っ	っ	っ	し	し	っ	っ	っ	し	し
ダ	ヂ	ヅ	デ	ド					
っ	っ	っ	っ	っ					
バ	ビ	ブ	ベ	ボ	パ	ピ	プ	ペ	ポ
っ	っ	っ	し	し	っ	っ	っ	し	し

第3目標まで達成できれば、人の名前、都道府県名、市町村名、俳句、短歌、歌詞など何でもいいですから、ご自分が興味をもてる言葉、文章を、この「はやかな」を使って書く練習をしていってください。

最初のうちは自分が書いたものが読めないかもしれませんが、それは気にしなくて結構です。だんだん慣れてくると、うまく読めるようになっていくはずですよ。

◆21世紀は3種類の仮名文字を使いましょう！

千年前にひらがなとカタカナの2種類の簡略文字がつくられ、非常に便利に使ってきました。しかし、これを「速記文字」と理解する人はほとんどいませんでした。

それはともかく、ひらがなの中で最も簡単な文字は「く」、「し」、「つ」「へ」です。カタカナの中で最も簡単な文字は「ノ」です。つまり、1本の線で書いてあるから、速く書けるわけです。

そうすると、45文字全部が1本の線で表現できれば、それが最も簡単な仮名文字になるはずですよ。

それにできるだけ近づけるように考えられてきたのが、いわゆる速記文字と言われるものだったわけです。

こういう速記文字にはいろいろな方式があり、それぞれ45の基本文字が考えられています。そして、どれも、ひらがな、カタカナより簡単に理解できるようになっているわけです。

ですから、「速記は難しい」と思わないで、「第3の仮名文字を覚えてみよう」という気持ちで、45の基本文字を何回も書いていってください。

従来の中根式を練習した方は、この中根式21世紀型を新たに覚えて使うことは、案外難しいかもしれませんので、無理に覚えなくて結構かと思います。

これから練習しようとする方は、まず、45の基本文字イコール「はやかな」をスラスラ書けるようにしていってください。

21世紀の日本では、こういう速記の基本文字が「第3の仮名文字」として広く活用されるようになればと、心から願っております。

第2章 スピードアップのための書き方

この中根式21世紀型の基本文字「はやかな」を、ひらかなやカタカナと同じようにスラスラ書けるようになったら、第3のかな文字として、日常のメモの中にどんどん使っていたいただきたいと思います。

それとともに、余力ができてきたと感じられたら、次の方法を理解してください。面倒だなと思われていたところが、あっさり表記できるようになると思います。

【その1】「ン」のつく言葉をまとめて書く方法

日本語には、「専門」(センモン)とか簡単(カンタン)のように、漢字の2音目に「ン」がつく言葉が非常に多いです。しかも、この「ン」は発音量が非常に少なく、発音しなくても、意味が理解できるほどです。例えば、

「専門家」 = (センモンカ) ⇨ [セモンカ] ⇨ [セモカ]

「キン肉マン」 ⇨ キ肉マ

のように、「ン」を発音しなくても意味が理解できます。

しかし、「ン」をつけないとどんな言葉なのかがわかりません。ですから、「ン」の発音量は少ないけれども、「ン」をつけた言葉として理解しながら、文字を書いていくことになっているわけです。

そこで、この「ン」をつけた表現の方法を理解して、「ン」のつく言葉を一気に書けるようにしていただきたいと思います。

書き方は次のとおりです。(それぞれの文字の一部を活用して書いてください)

- | |
|---|
| <p>* 曲線の文字の場合は、文字の頭部の内側に「ン」の小円を書く。 アン ⇨ </p> <p>* 直線の文字の場合は、文字の左側または上側に「ン」の小円を書く。 カン ⇨ </p> |
|---|

(1つの法則でまとめられるのですが、その説明は後述します。タン、チン、ツンも、このように書いてください)

★「ン」のつく言葉の書き方の一覧表★

アン	イン	ウン	エン	オン
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
カン	キン	クン	ケン	コン
㇁	㇁	㇁	㇁	㇁
サン	シン	スン	セン	ソン
㇂	㇂	㇂	㇂	㇂
タン	チン	ツン	テン	トン
㇃	㇃	㇃	㇃	㇃
ナン	ニン	ヌン	ネン	ノン
㇄	㇄	㇄	㇄	㇄
ハン	ヒン	フン	ヘン	ホン
㇅	㇅	㇅	㇅	㇅
マン	ミン	ムン	メン	モン
㇆	㇆	㇆	㇆	㇆
ヤン		ユン		ヨン
㇇		㇇		㇇
ラン	リン	ルン	レン	ロン
㇈	㇈	㇈	㇈	㇈
ワン				
㇉				

【その2】「つまった音」を簡単に書く方法

日本語には「日記（ニッキ）」とか「結果（ケッカ）」のように、つまる音があります。これも発音しなくても、大体理解できる音です。例えば、

次のように決定した ⇒ 次のようにケテイした

親戚の結婚式に出席 ⇒ 親戚のケコン式に出席

ですから、こういう音も省いてもいいわけですが、形の上で残しておいたほうが読みやすいこともあって、次のようにします。

それぞれの文字の尾部をはねると、小文字の「ッ」をあらわす

はねる方向は、大体、右45度上の方向としてください。 カッ⇒ ㄱ

濁音の場合は、左45度下の方向としてください。 ガッ⇒ ㄱ

半濁音の場合は、右45度下の方向としてください。 パッ⇒ ㄱ

従来の中根式では、「ッ」の前の音の尾部と「ッ」の後の音の頭部を交差する、という方法をとっていましたが、これでも構いません。

ただ、横に細く書いていくためには、この方法では下に延びてしまうこともあるので、文字をつながないで書くようにしているこの初級・中級の段階では、この方法は使わないようにしました。

★つまる音のつく言葉の書き方の一覧表★

アッ	イッ	ウッ	エッ	オッ
↗	↗	↗	↗	↗
カッ	キッ	クッ	ケッ	コッ
↖	↖	↖	↓	レ
サッ	シッ	スッ	セッ	ソッ
↘	↘	↘	↘	↘
タッ	チッ	ツッ	テッ	トッ
↙	↙	↙	↗	↗
ナッ	ニッ	ヌッ	ネッ	ノッ
↘	↘	↘	↖	↖
ハッ	ヒッ	フッ	ヘッ	ホッ
↓	↓	↓	↓	↓
マッ	ミッ	ムッ	メッ	モッ
↙	↙	↙	↙	↙
ヤッ		ユッ		ヨッ
↘		↘		↘
ラッ	リッ	ルッ	レッ	ロッ
↘	↘	↘	↘	↘
ワッ		パッ	パッ	
↘		↘	↘	

【その3】「長音」を簡単に書く方法

「交通（コウツウ）」とか「九州（キュウシュウ）」のように、「ウ」「ユウ」「ョウ」をつけて表現する言葉を長音と呼んでいます。これらを1字ずつ書いていくと非常に面倒です。

これらも「ン」や「ッ」と同じように、実は、余りしっかり発音しなくても、意味を理解することができます。例えば、

交通費（コウツウヒ） ⇨ コツヒ 高等学校 ⇨ コトガコ

ですから、1つの規則をつくって、この長音を省いていることを表現できるようにします。

「ユウ」のつく長音は、古くは、「ユ」を書いていませんでした。

シュウマイ ⇨ シウマイ

「ョウ」のつく長音も、古くは、「ョ」を書いていませんでした。

マショウ ⇨ マセウ

そのため、「ウ」のつく長音も「ユウ」「ョウ」のつく長音も、みな同じように考えることができます。ただし、「キョウ、ショウ、チョウ」が「ケウ、セウ、テウ」というように考え直すのかとって、非常に古くさい感じを持つ方もいらっしゃると思いますので、「ユウ」のつく長音、「ョウ」のつく長音という表現にしておいたほうがいいと思われます。
















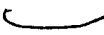
















その書き方は次のとおりです。

それぞれの文字の頭部に大カギをつけて表現する。つけ方は「ン」と同じで、

曲線は内側につける

直線は左または上側につける

★長音のつく言葉の書き方の一覧表★

	ウウ		オウ
			
キュウ	クウ	キョウ	コウ
			
シュウ	スウ	ショウ	ソウ
			
チュウ	ツウ	チョウ	トウ
			
ニュウ	ヌウ	ニョウ	ノウ
			
ヒュウ	フウ	ヒョウ	ホウ
			
ミュウ	ムウ	ミョウ	モウ
			
	ユウ		ヨウ
			
リュウ	ルウ	リョウ	ロウ
			

【その4】「よう音」を簡単に書く方法

許可（キョカ）、主義（シュギ）、庶務（シヨム）のように、よう音と言われる言葉があります。

ただ、日本語で使われるものは非常に限られていて、それだけを覚えると、ほかは必要ないとも言えるぐらいです。

すなわち、

「シャ」「シュ」「ショ」と「キョ」「チョ」「リョ」の6音です。

このうちの「シャ」もなくともいいぐらいですが、とりあえず6音をどのように書くかを理解して、使っていくようにしてください。

あとの言葉は、次のページの一覧表を見ながら、場合によっては使っていけばいいと思います。

書き方は次のとおりです。

それぞれの文字の頭部に大カギをつけて表現する。つけ方は「長音」と反対で
曲線は外側につける 直線は右または下側につける

★よう音のつく言葉の書き方の一覧表★

○:よく使うもの △:少しだけ使うもの		
×:日本語では使わないもの ××:外国語にもないもの		
△キヤ	×キユ	○キョ
┌	┌	┐
○シヤ	○シユ	○シヨ
┐	┐	┐
△チャ	×チュ	○チョ
┐	┐	┐
△ニヤ	×ニユ	△ニョ
┐	┐	┐
△ヒヤ	×ヒユ	△ヒョ
┐	┐	┐
△ミヤ	×ミユ	××ミョ
┐	┐	┐
△リヤ	×リュ	○リョ
┐	┐	┐

(付)

よう音に、「ッ」「ク」「ン」がつく言葉がありますので、これらを一気に書く方法も理解していただくといいわけですが、とりあえずは、「ッ」がつく書き方は、つまる音の書き方を使ってください。「ン」と「ク」が続く場合は、そのまま「ン」と「ク」をあとにつけるようにしておいてください。(シュン、シュク、シヨクなど)

【その5】 「イ」のつく言葉を簡単に書く方法

以上の音を簡単に表現する方法によって、日本語をかなり速く書くことができるようになりますが、もう1つだけ、理解できるようにして、使っていくようにしてください。

それは、「イ」のつく言葉が「ン」のつく言葉と同じぐらい多いので、これも簡単に表現できるようにしようというわけです。例えば、

経済（ケイザイ） 改正（カイセイ） 内定（ナイテイ）



などです。

この「イ」のつく言葉は、「ン」とか長・よう音・つまる音とともに、熟語をつくる場合が多いので、これもうまく書けるようになると思います。

関係 青年 交代 最高 休憩 来週 日程

など、どんどん簡単に表現できるようになります。

書き方は次のとおりです。「ン」の小円を大円に変えるだけです。

- | | |
|------------------------------|---|
| *曲線の文字の場合は、文字の頭部の内側に大円を書く。 | アイ⇒  |
| *直線の文字の場合は、文字の左側または上側に大円を書く。 | カイ⇒  |

★「イ」のつく言葉の書き方の一覧表★

アイ	イイ	ウイ	エイ	オイ
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
カイ	キイ	クイ	ケイ	コイ
㇁	㇁	㇁	㇁	㇁
サイ	シイ	スイ	セイ	ソイ
㇂	㇂	㇂	㇂	㇂
タイ	チイ	ツイ	テイ	トイ
㇃	㇃	㇃	㇃	㇃
ナイ	ニイ	ヌイ	ネイ	ノイ
㇄	㇄	㇄	㇄	㇄
ハイ	ヒイ	フイ	ヘイ	ホイ
㇅	㇅	㇅	㇅	㇅
マイ	ミイ	ムイ	メイ	モイ
㇆	㇆	㇆	㇆	㇆
ヤイ		ユイ		ヨイ
㇇		㇇		㇇
ライ	リイ	ルイ	レイ	ロイ
㇈	㇈	㇈	㇈	㇈
ワイ				
㇉				

● 以上の書き方を使った例 ●

これまでに理解していただいた方法を使って、実際にどのように書けるかを、少し例にしておきます。

最初は「はやかな」だけを使って書くようにして、そのうちに、これらの書き方を少しずつ混ぜていくことができるようにしていただければと思います。

こういう書き方を使って、1分間に150字程度までの速度の文章を、楽に書くことができるようになっていただきたいと思います。

漢字が比較的少ない文章でも、分速80字ぐらいまでが何とか続けて書くことができる限界です。

分速100字になると、一生懸命書いても書き取れないかもしれませんし、続けて書いていくことが苦痛になってきます。

分速120字になると、かな文字を非常に速く書くことができる人であっても、何分間も続けていくことが困難になります。

こういう状況が、普通の文字を使って書くことができる速度の限界です。これを簡単に、楽に書き続けることができるようになるということは、非常に素晴らしいことですし、また、どなたでもできるようになるはずだと思っております

まずは、無理のないところから、少しずつ練習していきましょう。

[文例]

交通安全

1 ㄣ ㄣ ㄣ

環境問題

ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

日進月歩

ㄣ ㄣ | 6

領収書発行

ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

高等学校

1 ㄣ ㄣ ㄣ

きょうは

ㄣ

速記を

ㄣ ㄣ ㄣ

一生懸命

ㄣ ㄣ ㄣ ㄣ

練習

ㄣ ㄣ

しました。

ㄣ ㄣ ㄣ

【その6】「ク・ツ・キ・チ」の4音を簡単に書く方法

日本語の中には、適切（テキセツ）、活躍（カツヤク）、来日（ライニチ）などのように、2音目に「ク・ツ・キ・チ」の4音が、既に理解していただいた「ン」と「イ」の音のほかに含まれていることが多いのです。

もちろん、「ン」と「イ」のように多くはありませんし、「チ」については、ほとんどありません。

しかし、音読みの漢字の中にはこの合計6音のいずれかが含まれていることがわかっています。（大正3年に中根式速記法の創案者が発見したものとされています）

そこで、余力があれば、これらの4音も簡単に書くようにできれば、それだけ速く、簡単に表現できることになります。

次にその書き方を説明しますが、「ン」と「イ」の書き方をうまく使えないうちは、この方法を使わないようにしてください。

書き方は次のとおりです。書き方は「ン」「イ」の場合と同じです。

- * 「ク」は、文字の頭部に小カギをつける。 カク⇒ ← サク⇒ ㄣ
- * 「ツ」は、文字の頭部に小楕円をつける。 カツ⇒ ㄣ サツ⇒ ㄣ
- * 「キ」は、文字の頭部に有尾大円をつける。 カキ⇒ ㄣ サキ⇒ ㄣ
- * 「チ」は、文字の頭部に有尾小円をつける。 カチ⇒ ㄣ サチ⇒ ㄣ

このようにして6音を簡単に表現する方法を、「インツチクキ」を簡単に書く方法と呼んでいますが、言いにくい上に“インチキ”くさいという方もあるので、これを並べ変えて「ツキイチクン（月一君）」を簡単に書く方法というように、本格的な中根式速記の場合ではなく、「スピードメモ法」の場合は呼ぶことにしています。

いずれにしても、

音読みの漢字の2音目には、つまる音、長・よう音のほかは、
このツキイチクンの6音が含まれているだけ

なので、これらを簡単に表現できればいいというわけです。

【ま と め】

基本の文字となる「はやかな」をすらすら書くことができれば、それだけでいろいろな文章を書いていってください。

それができるようになったら、今度は、これまでに説明した書き方のうちで、すぐに理解して使えるものをまぜていくようにしてください。

これまでにあげた一覧表をコピーしておき、最初のうちはそれらを見ながら、少しずつ活用していくようにしていってください。

そして、これらの一覧表を時間のあるときに見ておくと、それらの書き方をうまく活用することができるようになっていくと思います。

くれぐれも、いきなり全部使おうとしないで、自分がよく使う言葉の中に活用できる部分があれば、それだけをまず使えるようにしていってください。

次に、一覧表をまとめておきます。縮小していますので、実際に書くときは、ご自分で都合のよい長さにして書いていってください。

(文字の長さは1対2対3となっていますので、3ミリ、6ミリ、9ミリでも、4ミリ、8ミリ、12ミリでも、5ミリ、10ミリ、15ミリでも構いません。この解説書では一番短い文字を4ミリとしました。)

★「ン」のつく言葉の書き方の一覧表★

アン	イン	ウン	エン	オン
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
カン	キン	クン	ケン	コン
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
サン	シン	スン	セン	ソン
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
タン	チン	ツン	テン	トン
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
ナン	ニン	ヌン	ネン	ノン
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
ハン	ヒン	フン	ヘン	ホン
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
マン	ミン	ムン	メン	モン
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
ヤン		ユン		ヨン
㇀		㇀		㇀
ラン	リン	ルン	レン	ロン
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
ワン				㇀

★つまる音のつく言葉の書き方の一覧表★

アツ	イツ	ウツ	エツ	オツ
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
カツ	キツ	クツ	ケツ	コツ
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
サツ	シツ	スツ	セツ	ソツ
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
ダツ	チツ	ツツ	テツ	トツ
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
ナツ	ニツ	ヌツ	ネツ	ノツ
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
ハツ	ヒツ	フツ	ヘツ	ホツ
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
マツ	ミツ	ムツ	メツ	モツ
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
ヤツ		ユツ		ヨツ
㇀		㇀		㇀
ラツ	リツ	ルツ	レツ	ロツ
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
ワツ		バツ	バツ	
㇀		㇀	㇀	

★長音のつく言葉の書き方の一覧表★

	ウウ		オウ
	㇀		㇀
キユウ	クウ	キョウ	コウ
㇀	㇀	㇀	㇀
シュウ	スウ	ショウ	ソウ
㇀	㇀	㇀	㇀
チュウ	ツウ	チョウ	トウ
㇀	㇀	㇀	㇀
ニユウ	ヌウ	ニョウ	ノウ
㇀	㇀	㇀	㇀
ヒユウ	フウ	ヒョウ	ホウ
㇀	㇀	㇀	㇀
ミユウ	ムウ	ミョウ	モウ
㇀	㇀	㇀	㇀
	ユウ		ョウ
	㇀		㇀
リュウ	ルウ	リョウ	ロウ
㇀	㇀	㇀	㇀

★よう音のつく言葉の書き方の一覧表★

○:よく使うもの △:少しだけ使うもの
 ×:日本語では使わないもの ××:外国語にもないもの

△キヤ	×キユ	○キョ
㇀	㇀	㇀
○シヤ	○シユ	○ショ
㇀	㇀	㇀
△チャ	×チュ	○チョ
㇀	㇀	㇀
△ニヤ	×ニユ	△ニョ
㇀	㇀	㇀
△ヒヤ	×ヒユ	△ヒョ
㇀	㇀	㇀
△ミヤ	×ミユ	××ミョ
㇀	㇀	㇀
△リヤ	×リユ	○リョ
㇀	㇀	㇀

★「イ」のつく言葉の書き方の一覧表★

アイ	イイ	ウイ	エイ	ホイ
㇀	㇀	㇀	㇀	㇀
カイ	キイ	クイ	ケイ	コイ
㇁	㇁	㇁	㇁	㇁
サイ	シイ	スイ	セイ	ソイ
㇂	㇂	㇂	㇂	㇂
タイ	チイ	ツイ	テイ	トイ
㇃	㇃	㇃	㇃	㇃
ナイ	ニイ	ヌイ	ネイ	ノイ
㇄	㇄	㇄	㇄	㇄
ハイ	ヒイ	フイ	ヘイ	ホイ
㇅	㇅	㇅	㇅	㇅
マイ	ミイ	ムイ	メイ	モイ
㇆	㇆	㇆	㇆	㇆
ヤイ		ユイ		ヨイ
㇇		㇇		㇇
ライ	リイ	ルイ	レイ	ロイ
㇈	㇈	㇈	㇈	㇈
ワイ				
㇉				

★「ク」のつく言葉の書き方の一覧表★

アク	イク	ウク	エク	オク
カク	キク	クク	ケク	コク
サク	シク	スク	セク	ソク
タク	チク	ツク	テク	トク
ナク	ニク	ヌク	ネク	ノク
ハク	ヒク	フク	ヘク	ホク
マク	ミク	ムク	メク	モク
ヤク		ユク		ヨク
ラク	リク	ルク	レク	ロク
ワク				

★「ツ」のつく言葉の書き方の一覧表★

アツ	イツ	ウツ	エツ	オツ
カツ	キツ	クツ	ケツ	コツ
サツ	シツ	スツ	セツ	ソツ
タツ	チツ	ツツ	テツ	トツ
ナツ	ニツ	ヌツ	ネツ	ノツ
ハツ	ヒツ	フツ	ヘツ	ホツ
マツ	ミツ	ムツ	メツ	モツ
ヤツ		ユツ		ヨツ
ラツ	リツ	ルツ	レツ	ロツ
ワツ				

★「キ」のつく言葉の書き方の一覧表★

アキ	イキ	ウキ	エキ	オキ
カキ	キキ	クキ	ケキ	コキ
サキ	シキ	スキ	セキ	ソキ
タキ	チキ	ツキ	テキ	トキ
ナキ	ニキ	ヌキ	ネキ	ノキ
ハキ	ヒキ	フキ	ヘキ	ホキ
マキ	ミキ	ムキ	メキ	モキ
ヤキ		ユキ		ヨキ
ラキ	リキ	ルキ	レキ	ロキ
ワキ				

★「チ」のつく言葉の書き方の一覧表★

アチ	イチ	ウチ	エチ	オチ
カチ	キチ	クチ	ケチ	コチ
サチ	シチ	スチ	セチ	ソチ
タチ	チチ	ツチ	テチ	トチ
ナチ	ニチ	ヌチ	ネチ	ノチ
ハチ	ヒチ	フチ	ヘチ	ホチ
マチ	ミチ	ムチ	メチ	モチ
ヤチ		ユチ		ヨチ
ラチ	リチ	ルチ	レチ	ロチ
ワチ				

【 補 足 】

『上級の書き方を使うと、どのように書けるか』

中級の数まで簡単に書くことができるようになったら、いよいよ上級を目指していただくわけですが、文部科学省認定の速記技能検定試験の1級の文章を実際書くと、どのようなかを示しておきます。

従来の中根式の書き方を使って書いたものと比較してみました。上級の書き方はほとんどが従来の中根式の書き方と同じと考えていいかと思ひます。

できるだけ簡単な法則を使って書くようになっていますが、それらを理解していただくこのように書くことができるというわけです。

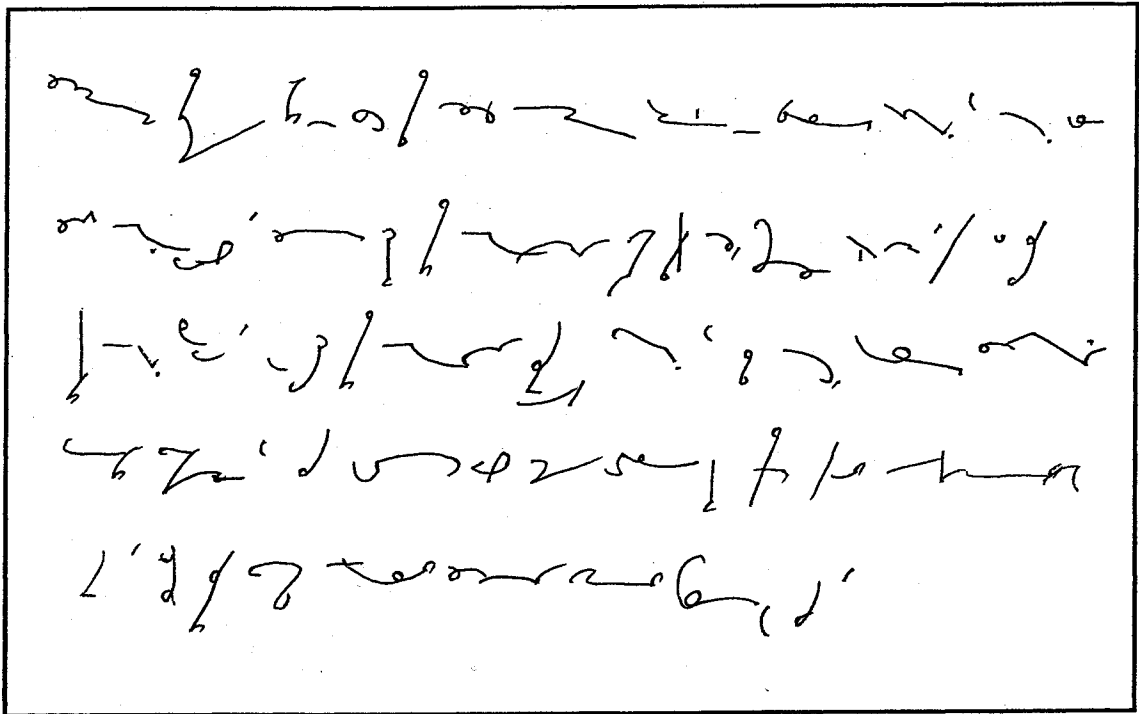
当分は、この中級までの書き方で、日常生活でのメモを簡単に書くことができるようにしてってください。そして、それがうまくなって、自信がついてきたら、上級の書き方を理解していくようにされるといいかと思ひます。

★日本速記協会主催の検定試験の1級問題文★

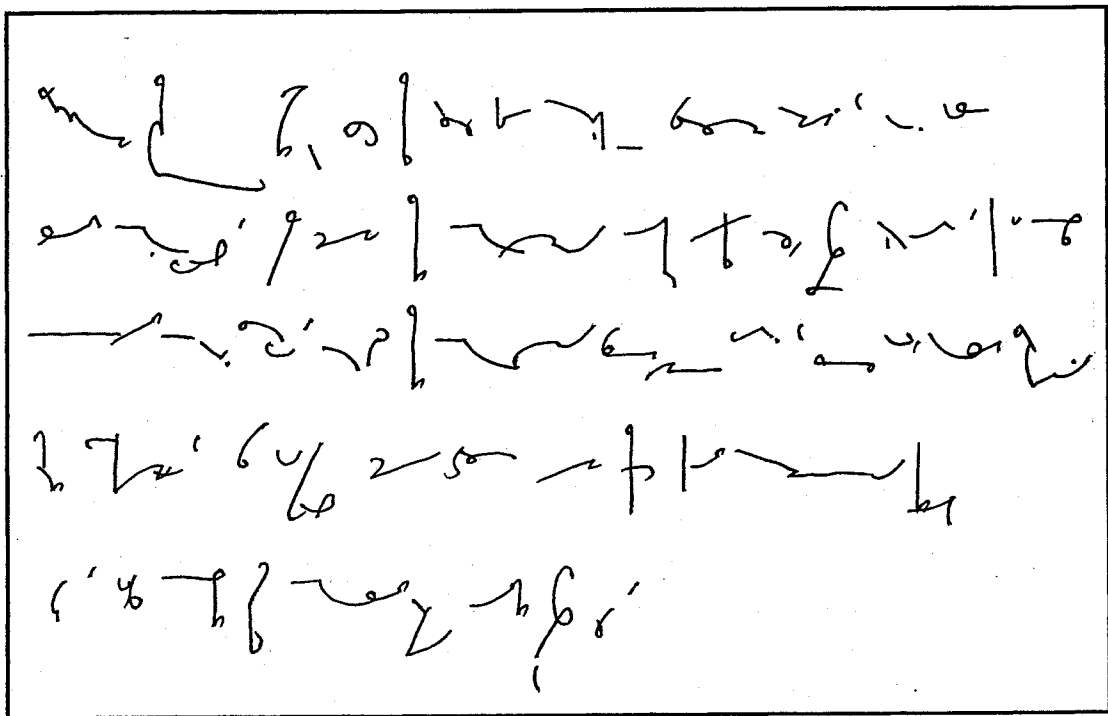
(平成16年5月の検定問題の10分の1、320字)

まず最初に、憲法についてのお話をします。現在の憲法は、皆さんも御承知のとおり、施行されてから60年がたとうとしています。そして、その間、1度も改正されなかったわけであります。もちろん、これまでに、憲法を改正すべきだという意見や提言は、さまざまな方面から出されていたのでありますけれども、その議論は具体的な形として進まなかったのであります。しかし、このところ、憲法を改正しようという論議が大きく動き出しています。最近は、それぞれの政党がマニフェストと言われる公約を掲げるようになってます。例えば、そういうものの中で、2005年までに憲法改正の原案をつくるということをおっしゃるところがあります。そのほかにも、期限を設けて改正案をまとめるという意向を表明しているところもあります。

【従来の中根式の書き方で書いたもの】



【この中根式21世紀型の基本文字「はやかな」を使って
従来の中根式の書き方を活用して書いたもの】



中根式21世紀型の解説（初級・中級）

Ⅱ発行日 平成16年8月22日 初版

Ⅱ著者 中根康雄

Ⅱ発行所 中根式速記協会



東京都千代田区三崎町2-4-12

電話(03)3261-5864

〔無断転載複製を禁じます〕